

子どもの笑顔のために 私たちがができること

子育て支援課 ☎027・220・5702



子育てをしていると、子どもが言うことを聞いてくれなくて、イライラすることがありませんか。しつけのためだからと、つい叩いたり怒鳴ったりしたくなることはありませんか。

毎日のように、子どもに対する痛ましい事件が報道されていますが、どこか遠い世界の出来事のように思っていないませんか。

子どもへの虐待に関心が高まっている今、改めて児童虐待について、私たちができることを一緒に考えてみましょう。

● 体罰や暴言はなぜいけないのか

子育てにおいて、しつけと称してたたいたり怒鳴ったりすることは、子どもの成長の助けにならないばかりか、悪影響を及ぼす可能性があります。脳画像の研究により、子ども時代に体罰や暴言などのつらい体験をした人は、脳にさまざまな変化が生じていることが報告されています。親は愛のむちのつもりだったとしても、子どもには目に見えない大きなダメージを与えているかもしれません。

● 赤ちゃんが泣き止まない時は

赤ちゃんが何をしても泣き止まずイライラしてしまうことは、誰にでもあります。しかし、泣き止まないからといって激しく揺さぶらないでください。赤ちゃんや小さな子どもの場合、頭に損傷を受け、重い障害が残ることや、命を落とすこともあります。どうしても泣き止まないときは、赤ちゃんを安全な所に寝かせて、その場を少しの間でも離れ、気を落ち着かせましょう。



● 上手な子育てを一緒に学ぶ

市では、怒鳴ったり叩いたりせずに子どもを育てる方法を学ぶ、「ほめて育てるコミュニケーション・トレーニング」(ほめトレ)を開催しています。1日2時間を3日間、合計6時間をかけて行います。親役と子ども役に分かれて、ロールプレイング形式で楽しみながら学べます。

また、ほめトレのポイントを伝える出前講座も随時開催している他、県の結婚・子育てポータルサイト「ぐんますマイルライフ」から動画でも見られます。



左記のような人を見掛けたら連絡を

気になる子どもや家庭を見掛けたら、市や児童相談所に連絡してください。連絡は匿名でも可能です。連絡者や連絡内容に関する秘密は厳守します。出産や子育てに関する悩みや質問がある人も、気軽に相談してください。

子育て支援課

027-220-5702

児童相談所 全国共通無料ダイヤル

189

子ども

- 不自然な傷や打撲の痕がある
- 衣類や体がいつも汚れている
- 落ち着きがなく乱暴である
- 表情が乏しい、活気がない
- 夜遅くまで一人で家の中にいる
- いつも子どもの泣き叫ぶ声や保護者の怒鳴り声がある

保護者

- 地域などとの交流が少なく孤立している
- 小さな子どもを家においたまま外出している
- 子育てに関して拒否的・無関心
- 強い不安や悩みを抱えている
- 子どものけがについて不自然な説明をする

産後ママの育児などをサポートします

☎ 子育て支援課 ☎027-220-5704

産後はホルモンバランスの急激な変化に加え、夜間の授乳で睡眠不足になりやすく、赤ちゃん中心の生活になるため、生活環境が大きく変化します。

イライラしたり不安になったり、涙もろくなったりするマタニティブルーは女性ホルモンの変化が原因と考えられ、2週間程度で自然に落ち着いてきます。症状が2週間たっても良くならない場合や、ひどくなる場合には産後うつ病が疑われます。赤ちゃんがかわいと思えなくなったり、感情のコントロールができなくなったりする場合には、一人で悩まず周りの人にサポートしてもらうことが大切です。

このような時に家族などの支援が十分に受けられず、眠れない、赤ちゃんの世話ができないといった心身

お母さんの心と身体の健康のために、助産師がサポートします。気軽に相談してください。



の不調がある人や、授乳などで育児不安が強い人を対象に、産後ケア事業が始まりました。利用先は市内の委託医療機関で、心身の回復のために必要な乳房マッサージなどの身体的ケアや沐浴・授乳などの育児サポート、母親の休養確保、相談などが受けられます。利用には生後3カ月未満など条件があります。詳しくは問い合わせてください。

費用＝〈宿泊型(1泊2日4食付き)〉6,000円(以降は1日毎に3,000円追加)〈デイサービス型(1食付き)〉2,000円。上限は7日間で、市民税非課税世帯と生活保護世帯は無料



日時 ① 6月11日～7月9日の火曜3回 ② 6月13日～7月11日の木曜3回、10時～12時
会場 前橋保健センター
対象 2歳～6歳の子を持つ親、先着各5人(親のみの参加。託児なし)
申し込み 5月22日(水)～31日(金)までに子育て支援課
☎027・220・5702